

## 平成25年度 第2回学校評議員会について

日時：平成26年2月25日（火）

14：00～16：00

場所：瓊浦高等学校 会議室

### 出席者

学校評議員（3名）

安高 徹氏 松浦 守寛氏 東島 真奈美氏 篠原 順子氏

学校関係各分掌長（14名）

校長 副校長 教頭（2名） 事務長 教務副部長 生徒指導部長 就職指導部長

進学指導部長 環境美化部長 保健部長 入試広報部長 学年主任（1・2・3年）

#### （1）開会の辞（副校長）

#### （2）評議員紹介（副校長）

#### （3）校長挨拶（校長）

瓊浦新聞に今年度後半の本校部活動の結果・成績を掲載する。新人駅伝で第2位。今年こそ全国大会に行けるのではと期待している。本校は運動部のイメージが強いが、文化部も頑張っている。演劇部・写真部・初出場ながら和太鼓サークル・将棋サークルなどが好成績をあげた。

#### （4）各校務分掌の経過報告及び方向性

（校長）

##### （1）3年間を見据えた学力の向上と実践

- ・やる気のある生徒、学力が低くてもしっかりと指導していく。  
1年：学力養成講座 2年：実力試験 3年：全クラス放課後1時間補習
- ・情報ビジネス科・・・全商の4種目1級は本校初。
- ・龍馬コース・・・実力考査・模擬試験の結果を見る限り、かなり力がついていると感じる。さらに検証して次年度以降につなげたい。
- ・機械科・・・技能検定やパソコン利用技術検定など新しい検定にチャレンジしている。
- ・東アジアキャリアアップ事業に本校から8名が参加。帰ってきてからの彼らの目の色が違った。次年度以降も多くの生徒に体験させたい。
- ・YCE短期留学・・・シンガポール、マレーシアに1名参加予定。

##### （2）広報活動の充実

- ・多くの保護者が携帯電話を持っていることから、一斉メールの普及に力を入れた。また、HPやブログを更に充実させた。今後、90周年に向けて広報活動を続けていく。

##### （3）学校運営の有機化

- ・経営戦略会議を立ち上げ、形にできるものは形にし、検討が必要なものは検討を重

ね学校運営に活かしている。

(4) 教職員の資質向上

- ・6名が文科省等の研修に参加。(うち2名は中央研修)
- ・中五島高校で1年間研修、川棚高校で時間講師として研修中。
- ・来年度も同様な研修をさせたいと考えている。

(5) 心と体の健康づくり

- ・今年度98%の出席率を達成する事ができなかった。  
→平均すると97.3%であった。

(6) 特別支援教育に関する校内支援体制の確立

- ・公立高校・・・約6%。本校はもっと多いのではないか。
- ・研修を増やし、教職員が統一した認識を持つ事ができた。

(7) 郷土の歴史と文化の探訪

- ・JAXAとの連携はうまくいっている。NHKの取材・放送もあり、本校への注目が集まっている。
- ・亀山焼き、凧の校外展を開催した。

(事務部)

- ・毎月、点検計画表に基づき計画的な点検を実施。
- ・校納金滞納額は1月末時点で約300万。年度末には例年程度になる予想。

(教務部)

- ・今年度、3年生の皆勤者が28%増加。
- ・図書館に来館する生徒や貸し出し数が増加している。(貸し出し数64%増)
- ・PTA総会・地区PTAへの参加者が劇的に増加。(総会50%増、地区PTA36%増)
- ・成績不振の特別奨学生に対し面談を行った。
- ・公開授業を年間13日設定し、教員同士で刺激し合った。

(生徒指導部)

- ・容儀指導は全教員で取り組むように働きかけをした。
- ・挨拶運動について近所の方から「よく挨拶をしてくれる」との声がある。しかし、中にはなかなか挨拶ができない生徒もいる。

(就職指導部)

- ・保護者や生徒への情報提供はしっかりと行えたが、情報誌を発行できなかったため、来年は計画的に発行し就職への意識を高めたい。
- ・就職指導専門員が多くの企業(80~90社)を訪問した。
- ・女子生徒が増えているので、女子生徒対象の求人を開拓していく。
- ・就職情報を教職員間でうまく共有できなかった。

(進学指導部)

- ・学力向上、進路意識の向上、そして教職員の進学に対する意識・スキルを高めること

を目標とした。

- ・朝補習、夜間補習、夏・秋合宿を実施した。今後はより効果のあるものとするように検討していく。

(環境美化部)

- ・環境美化委員による清掃活動は、委員の半数以上が部活動生なので、放課後に集めるのが困難だった。できるだけ声かけをして参加を促した。

(保健部)

- ・インフルエンザによる学級閉鎖が2クラスあった。
- ・相談室の長期利用者が2名、短期利用者が16名。

(入試広報)

- ・中学校訪問を年間6回実施した。
- ・HPの更新は各ページの見直しを行った。入試の合格者をHPで行った。

(第1学年)

- ・学年で学び直しを中心とした基礎学力養成講座(サマセミ)実施。
- ・リクルートと提携し、適職・適学診断を9月に実施した。(第2学年)
- ・就職模試・・・例年5回実施しているのを今年度は10回にした。

(第2学年)

- ・就職模試・・・例年5回実施しているのを今年度は10回にした。
- ・来年度はワンストップ挨拶に挑戦したい。

(第3学年)

- ・基本的な生活習慣の確立による出席率の改善が見られた。
- ・皆勤者が86名で、うち55名が3ヶ年皆勤である。

(教頭)

- ・学校評価アンケート結果について  
概ね『3』の評価 → 部活動や学校行事に対して保護者の理解があることがうかがえる。
- ・学校評価生徒アンケートより  
家庭学習の習慣が定着していない。

**(5) 今後の特色ある学校づくりについて評議員からの主な意見**

- ・問題行動への対応が迅速である。
- ・開かれた学校、開かれつつある学校という印象である。
- ・学び直しに時間を費やして欲しい。ついていけない生徒に手をさしのべて欲しい。
- ・出席率の高さに驚いた。転校する生徒もいるかもしれないが、できる限り瓊浦で学べるようにしてほしい。
- ・学校行事等への生徒の取り組みに元気がある。また、卒業式で声高らかに校歌を歌う姿もすばらしく、母校愛を感じた。

- ・全員クラブ生に取り組んでいることは素晴らしいと思う。
- ・地区 PTA への保護者の出席率向上は瓊浦に対する期待の表れ。
- ・挨拶をしてくれる生徒はきちんとしてくれるが、してくれない生徒も増えてきている気がする。学校全体で挨拶運動を広めて欲しい。
- ・勢いを感じる学校だなと思う。例えばホームページ。校長先生の「日本一を目指せる学校」と言う言葉に志の高さを感じる。
- ・保護者が学校の情報をたくさん知ることができるのは素晴らしいと思う。
- ・受験生が106名増加したことに驚いた。なぜ実現できたのかの検証を資料として示してよいのではないかと思う。
- ・バスやテレビのPRが充実しているので、在校生が誇りに思うのではないか。
- ・1年生のキャッチフレーズは気に入った。
- ・「学び直し」の言葉はうれしく思う。
- ・2年生の目標は具体的でよく分かった。
- ・3年生の「卒業後も見守り、支援する」という言葉に感動した。
- ・明確な目標を掲げそれに向かって努力、邁進されている。
- ・女子教育にも取り組まれているようで、今後も継続して欲しい。
- ・ホームページの更新が随時されており感心する。特に修学旅行。
- ・電車で席を譲る生徒が増え、以前の瓊浦高校とは違うなという印象がある。高い望みが感じられる。
- ・地域に根ざした学校であって欲しい。
- ・企業訪問で卒業生が頑張っている姿を見守っているというのは卒業生にとってうれしいことなので、今後も継続して欲しい。
- ・「瓊浦」は長崎と深いつながりがある名前の学校。学校の名前が変わらないようにしてほしい。
- ・重点目標の結果を見て、目標設定に対して指導が行き届いているように思う。
- ・キャリア教育、学び直し等、まだ課題も残っているのでそのところはよろしく願いしたい。
- ・反転授業に今後取り組んでいく必要があるのではないか。教育のあり方も今後変わってくるので検討をお願いしたい。

## (6) 閉会の辞